

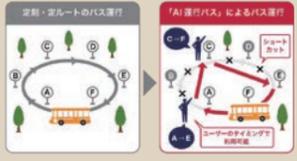
サステナビリティカンファレンスの10年

CSRから、事業戦略を支えるサステナビリティへ

～ ここから始まった施策は、10年後の大きな成長をめざしている ～

第1回 2014年2月19日 <small>研修センターにて初開催 70件エントリー、9件ノミネート、1件受賞</small>	第2回 2015年2月5日 <small>85件エントリー、9件ノミネート、2件受賞</small>	第3回 2016年2月16日 <small>グローバルがゲスト参加 60件エントリー、9件ノミネート、2件受賞</small>	
最優秀賞 緊急医療におけるたらい回しを抑制するクラウド型システム (NTTデータ) ⇒10年経て全国に展開 	最優秀賞 人類貴重遺産継承に向けたパチカン図書館とのデジタルアーカイブ事業の取組み (NTTデータ) ⇒10年経て3D化も実現、高野山蔵書にも展開 	最優秀賞 [Move&Flick] スマートフォン向けの新たな文字入力アプリ (NTTドコモ) 	優秀賞 everis foundation activities ～everis財団の活動～ (everis foundation) 

第4回 2017年2月23日 <small>優良施策 海外正式ノミネート 37件エントリー、7件(海外1件)ノミネート、7件受賞</small>	第5回 2018年2月16日 <small>初の海外最優秀賞 45件エントリー、7件(海外2件)ノミネート、7件受賞</small>	第6回 2019年2月15日 <small>働き方改革もテーマに 36件エントリー、6件(海外1件)ノミネート、6件受賞</small>	
最優秀賞 自然な日本語の対話ができるAI「Communication Engine「COTOHA」」の開発 (NTTコミュニケーションズ) ⇒AI開発へ発展 	最優秀賞 QHUBEKA: 自転車による教育・環境保全プロジェクト (Dimension Data) ⇒スポーツと社会貢献の連動へ 	最優秀賞 WinActor/Windirectorの展開による国内RPA市場の牽引 (NTTデータ) ⇒労働力不足解消や働き方改革に貢献 	

第7回 2020年2月7日 <small>オリパラの展示(車いす、ポッチャ体験) 44件エントリー、6件(海外2件)ノミネート、6件受賞</small>	第8回 2021年3月1日 <small>コロナ禍で初のWEB開催(以降も継続) 69件エントリー、8件(海外5件)ノミネート、9件受賞</small>		第9回 2022年6月15日 <small>表彰式をパレスホテル東京にて初開催 98件エントリー、46件(海外27件)ノミネート、6件受賞</small>
最優秀賞 食品リサイクルの普及を促進する「地域食品資源循環ソリューション」の展開(株式会社NTTフィールドテクノ) ⇒循環型ビジネスの発展へ 	最優秀賞 地域の文化芸術を通じた地方創生及びニューノーマルな文化鑑賞への挑戦 (NTT東日本) 	優秀賞 Health ticket and the first smart bus station (NTT Data Romania) ⇒地域創生の新たな形を創造 	最優秀賞 AI運行による地域交通課題の解決 (NTTドコモ) ⇒AIとモバイルで社会に貢献 

第10回 MVP 紹介 2023年6月12日

表彰式を報道関係者にも初公開
118件エントリー、58件(海外34件)ノミネート、12件受賞

ドローンを活用した医療用品サプライチェーンの構築 NTT DATA Business Solutions(ドイツ)

NTT DATA Business Solutionsは、アフリカ・マラウイにおいて、Wingcopter社の高性能ドローンを活用し医療サプライチェーンの課題を解決しています。これまでマラウイでは、道路インフラの未整備等により医療用品の配送センターから診療所等への医療品輸送に丸1日かかっていましたが、「SAP S/4 HANAクラウド」により堅牢かつ拡張性のあるプラットフォームを備えた高性能ドローンを活用することで、100種類以上の医療品をわずか20分で現地調達する仕組みを実現しました。さらに、現地の若者をWingcopterドローンパイロットに育成することで雇用機会も創出しており、「命を救う」、「生活の質を向上させる」という2つの側面で社会課題の解決に貢献しています。




AIによるリサイクルパーク利便性(UX)の向上 NTT Ltd. Belgium(ベルギー)

NTT Ltd. Belgiumでは、シスコ社と共同で開発したカメラとNTTのコンテナ検出・監視AI技術等を組み合わせることで、コンテナ中のリサイクル容器回収の最適化を実現しています。カメラに具備されたAIがリアルタイムでごみの量を読み取り、過去データと合わせ分析することにより、コンテナを交換する最適なタイミングを予測することを可能としました。回収コンテナが満杯である事象の解消を通じ、街の人々のストレス軽減に寄与するとともに、不法投棄の減少にも貢献しています。




森林・林業DXによるカーボンニュートラル社会の実現 NTT西日本

NTT西日本では、森林・林業DXの取組みとして人工衛星・ドローンによる計測、AI解析により、木の本数や種類・高さ等の森林情報を収集、森林の資産価値・CO₂吸収量を算出・データ化し、スマホやタブレットで見ることができる「森林クラウド」アプリを提供しています。これにより森林調査の稼働を従来の30分の1に省力化し、クラウド活用による木材需給マッチングにより、一般の木材市場より2%高い価格での取引が成立(実証結果)するほか、森林の新たな付加価値としてのカーボンクレジット収益を「豊かな森づくり」に還元させることで、地域と企業のカーボンニュートラルにも貢献します(約3億円相当のクレジットを創出見込み*)。 ※対象森林:約180ha、16年間のプロジェクト